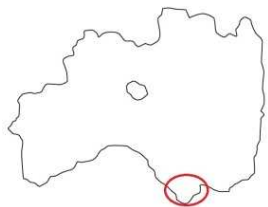


- 都市部からの交流人口の落ち込みが課題となっていたことから、農泊を中心とした体験型観光を呼び込む体制づくりを目的として、平成29年に「矢祭町農泊推進協議会」を設立。平成31年3月に設立された「日本農泊連合」の立ち上げにも参画した。
- 協議会ではモデル事業（ツアー等）を企画するとともに、町内の関係者等に事業への協力を依頼。このことを通じて農泊（体験型観光）に関心を持つアクターの掘り起しを行っている。平成30年度には「やまつり農泊推進シンポジウム」を開催し、関係者の意識高揚に努めた。
- 平成29年度から平成30年度の取組の結果、里山体験を提供する「来る里の杜」、農家民泊に取組む「やまつり清流の里協議会」が自発的に活動を開始し、ツアーの受け入れを開始したほか、清流の里では新たに3件の農家民宿が開業した。

福島県矢祭町



【実施体制】

矢祭町農泊推進協議会

矢祭町役場【事務局】

矢祭振興公社

JA東西しらかわ

宿泊部門

ユーパル矢祭（矢祭振興公社）
やまつり清流の里協議会（農家民泊）

食事部門

町内飲食店
来る里の杜（里山体験任意団体）

体験・交流部門

来る里の杜
やまつり清流の里協議会
漁協、観光協会

- 農泊推進協議会は、農泊事業の立ち上げを担う団体として設立。全体的な企画調整を担当する。
- 事業そのものは、協議会員以外の団体の協力により実施。本事業完了時までには協議会員に加わることを想定している。

【特徴的な取組】

- 通年のモデルツアー企画により、既存の観光資源にとられない新しい農村体験メニューの発掘を行っている。
- 経年劣化により傷んでいた「リフレッシュふるさとランド」の修繕を行い、教育旅行など団体の受入を可能に。
- 首都圏に近い立地を生かすため、「東北の勝手口」をキーワードとした「気軽な東北旅行」を目指す。



里山散策



先進地視察研修



農家との昼食会

【取組内容】

○モデルツアーの実施

- ・ 平成29年度事業（12月～3月）としてモデルツアーを2回実施
2/3～2/4 4名参加
3/17～3/18 23名参加
- ・ 平成30年度には、「地域受入型ツアー」、「地域特化型ツアー」と銘打ち、地域と密着した体験メニューを提供するツアーを試験的に実施し、継続的な取り組みに繋がっている。
- ・ これらのモデルツアー等を通じて、新たに20近くの新規体験メニューが開発され、地域の新たな収入源となっている。

○農家民泊の普及、リフレッシュふるさとランドの活用

- ・ 教育旅行等の受入も視野に農家民泊を希望する地域を募ったところ内川地区から6件の農家の希望があり、先進地視察や勉強会を経て、平成29年度末に「やまつり清流の里協議会」が結成された。平成30年度からの受入を目指している。
- ・ 平成30年度には「来る里の杜」でも農家民泊実施に向けた取り組みがあり、令和元年度の開設を目指している。
- ・ 平成29年度事業により、町営宿泊施設であるリフレッシュふるさとランドを修繕し利便性を向上させたことにより、教育旅行等の受入幅が広がった。



宿泊研修棟



展望台

インバウンド対応状況（青：対応）

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約